

# ちょうふ環境市民懇談会からのお知らせ ニュースレター 40

発行：2004年3月

## ちょうふ環境市民懇談会 第3回全体会が終わりました

2月14日(土)たづくり大会議場にて各活動グループの発表と調布里山物語の上映がありました。今回は各グループの活動内容をじっくり見ていただくとうとブースの展示を充実させました。体験コーナーは特に子供たちには好評だったようです。70名余りの参加をいただきましたが、会の存在を知らない方々にどうアピールしていくかが今後の課題といえます。



会場風景



これがへびやまの  
笹で作った笛です。



大きなマテバシイを切ると  
明るい林になりました。

調布のたんぼのようす  
がよくわかりますね。



脱穀って、こんな風にするんだ！



昨年度に引き続き運営委員を  
引き受けて下さった方々。

## 調布の自然 水辺編 No.11 ~ 多摩川の人工ワンドを見守る ~

平成5年、当時の建設省が多摩川の河川敷にワンドを再生しました。魚類や水辺の生物に配慮した多様な生息空間を持つ入り江のはずですが、度重なる台風の被害などでその姿を変えようとしています。

昨年の夏から冬にかけて訪れて知り合った、今年度からワンドの機能評価の研究に取り組む芝浦工業大学水圏環境研究室の岩崎さんの話では、かつて4mはあった水深も現在では1.5mばかり。川や湧水の量の減少に加えて、釣り人の練り餌も水質に影響を与えているとのこと。市内在住で淡水魚類の研究者である君塚さんもこのワンドの機能評価の研究を続けられているので、その報告も待って皆でワンドの行く末を見守りたいと考えています。

本流への出口付近のワンドには外来種で今流行のウォータープランツのオオフサモが根付きはじめています。どこから来たのかはわかりませんが、水質浄化効果も期待薄のようで、水質悪化も含めてワンドの機能が失われていきそうです。(中原)



# 入間・樹林の会



アオキの実がかわいいな

2月15日は、落ち葉はきと、階段の補修の管理作業を行いました。地元自治会の小島さんが参加され、その第一声が、落ち葉だめへの通路の落ち葉はきからはじまる足元の安全確保でした。また、もっと子どもや地域の人がいいるためには、「安全確保」のための通路の整備が大切と強調されました。階段の補修についても、樹林地内の立ち枯れた杉を切り、杭打ちから本格的な階段づくりの手ほどきをうけました。はじめての樹林地の感想は、落ち葉だめを杵からしっかり造り直し、堆肥をつくり林の中での循環をめざすブロック毎に予想図を描くこと 自然に雨水の流れ道ができるので池なども可能か 階段に手すりも必要では、等



でした。心強い助っ人の登場はうれしいものです。今日一番のアドバイスは「安全確保」で、あらためて一人ひとりが肝に命じました。

来月は、木の番号札のとりかえ(通路からみえる木から) 西側樹林地の粗大ごみの撤去作業(これは人手が必要) 階段づくりの作業のつづきです。

樹林地の保全地域の拡大で、人手の確保が大きな課題です。

(あべ)

## 野川・里山探検隊「簡易炭焼きと木工作」

2月21日(土)晴天、今年度最後の事業、「簡易炭焼きと木工作」を深大寺かに山で10組23人で行いました。最初に焚き火の材料集めで全員が、枝や枯れた木を集めた後、講師の小池先生指導の「焚き火の方法」でカマドに枝を組み、高さ50cm位積み上げました。点火の火は、サポーターの中原さんが古代の方法「火おこし器」を使ってつけた火種から4つのカマドに点火しました。子どもたちは熱心に煙の出るまで焦げた臭いを感じようと、鼻をピクピク。そこにたばこの煙。「あっ、臭ってきた」でも残念の一場面もありました。



点火はみんな成功で見る間に火は燃え上がりました。さあこれから「炭」を作る準備です。みんな持ち寄った金属製の空き缶に松ぼっくりなど入れて針金で結び、ガスで蓋が飛ばないようにしてから焚き火に投入。火は勢い良く燃えて近寄れないくらいでした。缶に開けた穴から、ガスが噴出し火がついて高い音をたて、このガスが機関車やバスのエネルギーだった昔の乗り物の話もあり、その力に一同感激でした。「炭」ができる間でお昼ごはんになりました。

お昼が終わって、薪をつくるため「まさかり」を使った薪割り体験をしました。まさかりの重さになかなか割れずに、何回も挑戦する子どもたちでした。火の番は大人が担当し、ヤキイモも入れられ出来上がる間、「笛」や「ブンブン」という振り回して音のでるものを作りました。これはお父さんたちが熱心にナイフを使い作っているのも印象的でした。さてその出来栄に、子どもたちの見守る中、ブンブン鳴り「ほっ」だった感じもあったのでは。「炭」もでき、薪割りもして、ヤキイモも食べ、「笛」も作ったりの充実した一日でした。

(A)



# 総合的な学習の時間に対応する地域プログラム等作成

昨年度より続いた二ヶ年計画の事業も、そろそろ終わりを迎えようとしています。今年度の、これまでの活動をまとめて報告します。

## 人材育成講座

サポート活動にプラスとなるような知識の習得を目的として、講師の方をお招きして、自主講座を開きました。全5回の予定のうち、4回までが終了しました。

## 小学校授業サポート

### 調和小学校 4年生（総合）

5月から2月まで継続して、「野川」をフィールドとした、子どもたちの活動をサポートしてきました。-「虫」「植物」「鳥」「川の中の生き物」「水」「石」の各テーマごとに、担当者を決め、野川で生きものを捕まえたり、観察したり、調べたりする課程で、一緒になって考えたりアドバイスなどをしてきました。試行錯誤をしながらのサポートでしたが、2/27には、その発表会が行われます。

### 富士見台小学校 1年生（生活科）

「多摩川」をフィールドとして、「草花遊び、虫取り」の活動をサポートしました。天候などの都合により、全体で2回、1クラスのみの研究授業で1回のサポートになりましたが、子どもたちが多摩川を身近に感じ、虫や草花によりいっそうの興味を持ってくれたことを実感しました。サポート後に、子どもたちが可愛い感想を書いたのも嬉しかったです。

この学年の来年度のサポートも、引き合いが来ており、今後が楽しみです。

### 第三小学校 3年生（総合）

これまでに「多摩川」での活動をほとんど経験していないということで、2回の単発的な活動として、「植物」「鳥」「水質」をテーマに、「多摩川」に親しむための活動サポートを行います。学校側では、これをきっかけに、今後の多摩川での活動を更に広げていきたいという意向です。1回目を終えた感想としては、子どもたちが、意欲的、発展的で、今後が楽しみです。

## カード作り

授業サポートを通して感じたこと、学んだことをベースに、教師が補助教材として利用できるような、調布の自然を生かしたカードを作っています。

## 資源調査

自然環境学習のフィールドとなりそうな所をピックアップして、現地の様子や、動植物の種類、活用案などを調べました。

事業としては3月で終了しますが、今後も引き続き自主グループとして、授業サポートを中心とした活動をしていく予定です。その為にも、新たなメンバーの参加が望まれますので、新規メンバーの募集説明会を開催します。3/5号の市報にも掲載予定ですが、興味のある方は是非いらしてください。

【説明会詳細4面参照】



先生達と現地調査



調和小 - 川の中の生き物調査



富士見台小 真剣に聞く子どもたち

## 「田んぼの学校」受講生募集

貴重な里山風景が残る佐須地区の田んぼで、有機栽培による米作りを中心とした自然体験学習を9ヶ月、20回行います。

### 【親子コース】

参加資格：市内在住の小・中学生とその親  
 定員： 10組  
 費用： 受講料 月2,000円  
 保険料 1人年1,000円

### 【田んぼ基礎コース】

参加資格：中学生以上の市民  
 定員： 10名  
 費用： 受講料 月2,000円  
 保険料 1人年1,000円  
 問い合わせ先：尾辻 87-4385

## 「調布の自然学習ボランティア」

### 募集に伴う説明会!!

私たちと一緒に、市内の小・中学校で、自然環境の学習をサポートするボランティアを募集します。

説明会を次のとおり開催しますので、関心のある方は是非おいください。

日時：平成16年3月12日(金)

午前10時~12時

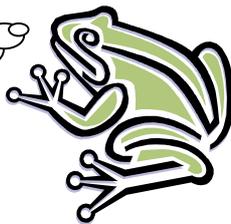
場所：調布市文化会館たづくり

10階 1002 学習室

定員：20名

問い合わせ先：杉山 88-4863

このニュース  
 レターは市の  
 HPでカラー版  
 が見られます。



## 入間・樹林の会

日時：3月21日(日)9:30~

集合場所：入間地域福祉センター

持ち物：軍手・筆記用具、作業できる服

作業：階段づくりほか

問合わせ：環境保全課(81-7086)

## <会議のスケジュール>

| 日時                      | 場所               | 活動名/内容           |
|-------------------------|------------------|------------------|
| 3月4日(木)<br>18:30~20:30  | たづくり3階<br>301会議室 | 環境市民懇談会<br>運営委員会 |
| 3月8日(月)<br>18:30~20:30  | 市役所3階<br>第1会議室   | 環境モニター<br>連絡会    |
| 3月17日(水)<br>18:30~20:30 | 市役所3階<br>第1会議室   | 環境市民懇談会<br>連絡会   |
| 3月18日(木)<br>18:30~20:30 | 市役所3階<br>第1会議室   | 入間・樹林の会<br>世話人会  |
| 3月22日(月)<br>13:30~      | 市役所3階<br>環境部会議室  | ニュースレター<br>編集会議  |

## ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか?

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み:(尾辻)

[kp5y-otj@asahi-net.or.jp](mailto:kp5y-otj@asahi-net.or.jp)

## 環境市民懇談会 連絡会議 に参加してみませんか?

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみたい方、なと思っている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

## 【編集後記】

入間・樹林地に地域自治会の助っ人が登場!まず、「安全管理」、足元を片付け、滑らないように落ち葉はきをしてから、作業をすること。そのことを教えられました。

これが、基本のき。 【Abe】

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL: 0424-81-7086

E-mail: [kankyoku@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kankyoku@w2.city.chofu.tokyo.jp)

発行：ちょうふ環境市民懇談会